



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに
輝きを

2014-2015 R 会長メッセージ

第1133回例会 2014年9月17日 No.1102号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

9月に入って過ごしやすくなりましたが、なお、日中の暑さは厳しいものがあります。体調管理には気をつけて下さい。それにしても、前月、8月は広島にとって悲しい月でした。広島市北部の緑井地区、八木地区を襲った局地的豪雨による土砂災害によって多くの方が亡くなられたことは悲しみに耐えませぬ。亡くなられた方のご冥福を重ねてお祈り申し上げます。さて、局地的豪雨は日本だけのことではなく、先日の新聞・ニュースで中国の四川省でも局地的な豪雨による土砂災害により10名あまりの方が亡くなったと報じられました。このような気候変動は地球規模の温暖化によるものでないかと言われていきます。そうであれば、これからも生じる気候変動は地球規模(グローバル化)での生じる可能性がありますので、他国での気候変動にも気を配る必要があるかと思えます。「グローバル」と言えば、本日の卓話者である谷口様のお話は「経済」ということであります。経済については、アメリカのニューヨークが嘸をすれば、日本は風邪をひく、といわれてきましたが、TPPの問題をはじめ、世界的規模での経済の一体化が進行しておりますし、このような世界的な動きは回避できないと思われまますので、私としても、職業人としても、世界的規模の経済の動きに備えなければならないかもしれません。それと、日本国内の経済でいいますと、中央と、地方の格差の問題は深刻です。また、広島市の沿岸部と山間部、山陽側と山陰側の経済格差と人口格差は放置できないレベルになっております。私たち職業人もこの問題に関心を持ち続けることが大切だと思います。私も時々仕事で山陰の方に出張しますが益田市や浜田市の中心部に、工場や事業所が撤退したため、大規模な更地が瘡蓋の跡のように点在している様はある意味異様です。「何とかしなければ」との気持ちをもって関心をもち続けることが重要だと思います。

今回の例会(9月24日)

ゲスト卓話 佐藤 恭子様
ピアノ演奏 小柳 賢太郎様

次回の例会(10月1日)

会員卓話
武田 龍雄 会員

出席報告 (例会運営委員会)

9月17日(水)出席者

会員総数	56名	ご来賓	1名
出席会員	42名	ご来客	3名
欠席会員	14名	ゲスト	0名

幹事報告(賀谷幹事)

■BOX配布物

- ・会員名簿・事業計画書の訂正文書を配布しております。ご確認ください。

■例会変更

- ・広島廿日市RC「職場訪問例会」
【とき】9月22日(月) 12:30～13:30 [※同日変更]
【ところ】三建産業株式会社(安佐南区伴西3丁目1-2)
- ・広島北RC「姉妹クラブ 京都伏見RC歓迎夜間例会」
【とき】9月25日(木) 18:00～ [※同日昼からの変更]
【ところ】ホテルグランヴィア広島

■休会のお知らせ

- ・9月22日(月) 広島東南RC
- ・9月26日(金) 広島城南RC

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

来 賓 卓 話

一般財団法人ひろぎん経済研究所
理事経済調査部長
谷口 康雄 様

広島県は、人口・県内総生産など幅広い項目において全国順位が11位前後で、全国平均を100とした指標で見ても、ものづくり県の特徴として製造品出荷額が突出している他は、ほぼ全国平均となっており、「日本の縮図」とも呼ばれています。当県が様々な新商品のテストマーケットに選ばれるのも、こうした理由があるといわれています。また人口と県内総生産を中国地方5県で比べてみると、両項目とも岡山県は当県の約2/3、山口県は約1/2、島根県は1/4以下、鳥取県は1/5以下となっており当県の規模の大きさが窺われます。さらに、製造業の他にも商業やサービス業などのウェイトも高く、全体的にバランスのとれた産業構造になっています。



一方、全国的な問題である人口減少については、広島県も例外ではありません。少子高齢化の問題に加えて、その間にある生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の減少が特に大きな問題となりつつあります。具体的な数字をあげると10年先の2025年には2010年と比べ、県内の生産年齢人口は約25万人、つまり呉市が無くなる位の減少がおきます。何故おきると断言したかという、2025年の15歳は今4歳の子供であり、この数は大きくは変わりません。これは予想でなく現実におきることなのです。人口減少は大きな問題ですが、企業は、このことをしっかり想定して、新たなマーケットの創出等も含め事業戦略を考えることが重要だと考えています。

前述のとおり、当県は中国地方において圧倒的な強さを有しています。今後は、これまで培ってきた技術やサービスを成長が期待される分野や従来とは異なる分野へ水平展開するなどの事業構造の変革に加え、地域経済の成長に向けて製造業や観光産業等を強化して域外からの収入を拡大する必要があります。また、地場の商業・サービス業等の県内市場産業を振興し、域内循環を円滑にして需要の域外流出を抑制することが重要と考えます。



.....SMILE BOX

賀谷俊幸 会員

9月7日 陵北ロータリーゴルフ同好会のゴルフ大会が、ハンデに助けられて優勝しました。今後も宜しくお願いします。

南條泰 会員

社用にてメキシコの工場へ行ってきました。メキシコの経済発展が急速に進んでいる事を実感して帰りました。

SAAより

全員出宝お願い致します。

当日計	49,000円	累計	324,000円
-----	---------	----	----------